

経営方針

1. 経営の基本方針

当社は、人間の自由な創造力を活かした「創造的経営」、現状を打破し常に時代の変化に挑戦し続ける「革新的経営」を経営の基本姿勢としており、急速に進展する経済のグローバル化並びに市場環境の変化を視野に入れ、「得意とする制御技術を駆使して顧客ニーズに応え、社会に貢献する」ということを、事業活動上の指針としております。また、株主をはじめとしたステークホルダーからの期待と信頼に応えるよう、グローバル連結経営に根ざした優良企業グループとして永続的に成長することを目指し事業活動を推進しております。

2. 利益配分に関する基本方針

当社は、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主に対する安定的な配当の維持並びに適正な利益の還元を実施することを経営の最重要施策の一つと認識しており、中長期的な観点で株主資本利益率及び株主資本配当率の向上に努めております。また、内部留保につきましても、事業展開を勘案し、中長期的展望に立った研究開発投資、生産合理化投資、情報化投資等に有効活用し、企業体質と企業競争力のさらなる強化にも取り組んでおります。

以上より、配当については、すでに年間ベースで3期連続の増配を実施しており、今年度も、中間配当金として、1株当たり25円、年間配当金は50円へ増配することを予定しております。

一方で、当社は、昨年11月に創業60周年を迎え、社名を「IDEC」へと変更し、今年度末の2007年3月には会社設立60周年を迎えます。この企業としての節目に当たり、昨年度と今年度の2年間で60周年記念期間と位置づけ、「事業領域の拡大と新たな成長」に向け、各種展示会、記念イベント等を通じて、エンドユーザーをはじめとする多くの方に、当社の新しい姿を広くアピールすることができ、今後、これらの結果が、業績の拡大に寄与するものと考えております。

以上のような背景を踏まえ、株主のみなさまのご支援にお応えすべく、既に修正発表しておりますとおり、会社設立60周年の記念配当を、実施する旨決定した次第であります。

これにより、今中間配当金は、普通配当25円、記念配当5円の計30円とし、期末配当金も同様の内容で30円を予定しておりますので、一株当たり年間配当金は、60円とする予定であります。

3. 投資単位の引下げに関する考え方及び方針等

当社は、株式の流動性を高め、より多くの個人株主の増加を図ることを資本政策上の重要課題と認識しております。そのため、利益還元の充実に加え、個人株主にわかりやすい事業報告書の作成やホームページの拡充などの対応を進めております。

さらに、投資単位の引下げにつきましては、株式市場活性化のための有用な施策の一つと考え、既に2004年8月より1単元の株式数を100株に変更しております。

4. 中長期的な経営戦略と対処すべき課題

当社は、前年度(2006年3月期)より3年間の新中期経営計画におきまして、これまで培ってきた技術基盤を活かしつつ、他社との業務提携等もより積極的に推進し、「事業領域の拡大と新たな成長」を目指し、さらに強固な経営基盤の確立及び事業の拡大、収益構造の変革に取り組んでおります。

今後は、これまで制御機器事業の一環として事業展開しておりましたLED、電源なども含めて、当社がこれまで培ってきた要素技術である「制御安全技術、金型及び精密部品加工技術、自動組立・ロボット応用技術」などをフルに活用し、昨年度に資本参加いたしました(株)東研との連携強化、2006年4月18日付けで新規設立いたしました当社100%出資子会社IDECオートメーション(株)を中核として、トレーサビリティ事業をはじめとする新規事業の業績への寄与、さらには、国内外の他社との連携等も強化し、制御機器事業のみならず、新たな事業領域での事業規模の拡大と成長を実現させていく所存であります。